



日本学術会議 in 福岡 学術講演会

若手研究者が考える 地方創生と学術の未来

令和4年2月23日(水・祝) 14:00~17:25

開催形式 オンライン

今回の学術講演会では、地方創生をテーマに、学術コミュニティや大学と社会の関係を捉え直すとともに、それを担っていく若者の現状と課題を整理する。これらを通じ、まずは地方から「若手が活躍できる社会」を実現しつつ、「学術」と「地方創生」がwin-winで発展できる未来について議論する。

お申込方法

締切:2月18日(金)

右記QRコードを読み取り、応募フォームからお申込みください。



参加費無料

どなたでも参加頂けます

要事前登録

主催/日本学術会議、九州大学(共催)
後援/福岡県、福岡市、
公益財団法人日本学術協力財団



問い合わせ先
日本学術会議九州・沖縄地区会議事務局
(九州大学 研究・産学官連携推進部 研究企画課研究総務係)
E-mail: gjgevent@jimu.kyushu-u.ac.jp

若手研究者が考える地方創生と学術の未来

地方創生には様々なステークホルダーが関わってくるが、その推進に向けて、それぞれが問題を抱えているのが現状である。ここでは、中央政府、地域行政、産業界、地域における高等教育機関、若手研究者、それぞれの関わり方・役割について、主に若手研究者の視点から課題を掘り起こし、これからの地方創生のあるべき姿に迫る。

プログラム 総合司会: 岸村 顕広 (日本学術会議連携会員、九州大学准教授・総長補佐)

- 14:00~14:10 **開会挨拶**
梶田 隆章 (日本学術会議会長)
石橋 達朗 (九州大学総長)
- 14:10~14:15 **総合司会による趣旨説明**
- 14:15~14:35 **講演1「社会課題解決に貢献する大学への期待、政策立案の立場から」**
齊藤 卓也 (文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課長)
- 14:35~14:55 **講演2「地域におけるイノベーション政策の現状と課題 ―大学と地域の関係性に注目して」**
標葉 隆馬 (日本学術会議若手アカデミー特任連携会員、大阪大学准教授)
- 14:55~15:15 **講演3「地方国立大学における産学・地域連携の「中のひと」～社会と大学の界面観察」**
中武 貞文 (鹿児島大学准教授)
- 15:15~15:25 **休憩**
- 15:25~15:45 **講演4「地域文化アイデンティティの再構築と実践
～誇りと尊厳ある生き方 (Well-being) を取り戻すために～」**
井上 果子 (宮崎大学准教授)
- 15:45~16:05 **講演5「若手研究者が地域に出ていくために ～意義・葛藤・評価から考える～」**
小野 悠 (日本学術会議連携会員、豊橋技術科学大学准教授)
- 16:05~16:15 **日本学術会議地域活性化に向けた社会連携分科会からの報告**
- 16:15~16:25 **休憩**
- 16:25~17:15 **総合討論・パネルディスカッション
【パネリスト】**
谷口 功 (日本学術会議連携会員、独立行政法人国立高等専門学校機構理事長)
齊藤 卓也 (文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課長)
標葉 隆馬 (日本学術会議若手アカデミー特任連携会員、大阪大学准教授)
中武 貞文 (鹿児島大学准教授)
井上 果子 (宮崎大学准教授)
小野 悠 (日本学術会議連携会員、豊橋技術科学大学准教授)
- 17:15~17:20 **シンポジウム総括**
安田 仁奈 (日本学術会議連携会員、宮崎大学准教授)
- 17:20~17:25 **閉会挨拶**
玉田 薫 (日本学術会議九州・沖縄地区会議代表幹事、九州大学副学長・主幹教授)